

「新しい松戸」の商業施設を地域と共創

■松戸市にキャンパスがあり、保育者養成で著名な聖徳大学とキッズスペースを共同開発



ディスカッション中の聖徳大学の学生

松戸市は「やさシティ、まつど。」を掲げ、「共働きが子育てしやすい街」として注目を集めています。2017年4月には「2年連続待機児童ゼロ(国基準)」を達成しました。

子育ての街・松戸ならではの産学連携で共同開発した、キッズスペースが誕生します。聖徳大学の学生と学術的な視点を取り入れ、コンセプトから使われ方で検討を重ね、松戸ならではのキッズスペースが登場します。

■日本一のつけ麺店とも称される「中華蕎麦 とみ田」の新規店舗

「テラスモール松戸」でしか食べられないオリジナルメニュー登場予定



「中華蕎麦 とみ田」
店主 富田 治氏

日本一のつけ麺店とも称され、国内外多くの人に支持されている「中華蕎麦 とみ田」の新規店舗が、本施設のフードコートに登場します。

「中華蕎麦 とみ田」は、2006年松戸に1号店をオープン。店主の富田氏自ら全国に足を運び選びぬいた食材を用いて、ラーメンを日本の食文化として多くの人に伝えていくべく、今も店頭に立っています。幅広い世代の松戸市民から愛され、国内遠方や海外からのファンも多数。松戸が誇る食文化に発展しています。

今回の店舗は、ファミリーを中心に幅広いお客様が楽しめる新規店舗で展開します。

■松戸市民の声をお菓子に。遠方からのファンも多い、地元名店が出店

SC 初



「pâtisserie ma-sa」
オーナーパティシエ 菅家(かんげ)夫妻

甘さを控えたケーキや焼き菓子、お客様のご要望に応えるオーダーメイドのケーキなどで、松戸市で13年間愛されている人気洋菓子店「pâtisserie ma-sa (パティスリーマーサ)」の2号店「ma-sa de plus(マーサ ドゥ プリュス)」が、本施設に登場します。

地元のお客様のリクエストから生まれた、松戸市観光協会推奨品の「極上かすてら」や、松戸土産に最適な「マツドーナツ」「松戸っ栗」などユニークなネーミングのお菓子を揃え、都内や他県からの常連のお客様も多い人気店です。

「ma-sa de plus」では、開発中のオリジナル商品をはじめ、お菓子づくりを通じてさらに多くの方にワクワク感のある商品をお届けします。

■松戸が創業の地、「マツモトキヨシ」も出店



株式会社マツモトキヨシは、1932年松戸市小金に、社名にもなっている「松本清」が個人経営の「松本薬舗」を開いたことから始まりました。

1951年には、店名を「薬局マツモトキヨシ」に改称し、現在の店名が誕生しました。「よりよい品をよりやすく」と「親切なお店」をモットーとして地元で長年愛され、身近な存在のドラッグストアとして、本施設にも登場します。